

桜井市通級指導教室 「かがやき教室」

直通 Tel・fax
(0744)46-9828



通級による指導とは・・・

学校は、すべての子どもたちが毎日楽しく安心して学習や活動をする場です。しかし、様々な原因によって本来の力を出し切れていなかったり、不安をかかえたりしながら学校生活を送っている子どもがいます。「通級指導教室」は、このような子どもたちが自分らしく本来もっている力を輝かせながら、生き生きとした学校生活が送れるように支援することを目的とした教室です。

通級による指導

「かがやき教室」は、通級による指導の形態をとっています。現在通学している学校の通常学級に籍を置いたまま、必要な時間だけ「かがやき教室」に通って指導を受けます。

通級指導教室での指導内容

子どもたちのニーズは一人一人違います。通級指導教室では、通っている学校(在籍校)の担任や保護者の方々の意見も聞きながら、子どもの様子に応じて指導計画を立てます。また、必要に応じて関係諸機関との連携を図り、適切な助言を受けながら進めていきます。

指導時間・指導回数

それぞれの子どもの実態に応じて異なります。通級によって、通常学級の授業を抜けるような場合が生じても、遅刻や早退・欠席扱いにはなりません。

保護者の付き添い

子どもの通学途中の安全確保の面から、保護者の付き添いを原則にしています。

指導の形態

- 個別指導では、一人一人のつまづきに応じた指導を行います。
- 小集団指導では、対人関係や社会性を高める指導を行います。

集中して話を聞いたり、勉強したりできるようにになりたいな。

友だちに思っていることをうまく伝えたいな。

文章をすらすら読んだり、ひらがなや漢字の形を整えて書いたりできるようにになりたいな。

自分にあった学習の方法を見つけたいな。

「ブダンコ」じゃなくて「ブランコ」って発音したいな。

九九を覚えることや、まちがえないで計算できるようにになりたいな。

ことばの話し始めにつまったり、くり返したりしないでスムーズに言いたいな。



通級までの手順

まずは、保護者・在籍校から教育相談を申し込んでください。

通級の開始は、在籍校と通級指導教室と市教育委員会が検討して決めます。

在籍校からの通級希望の申し込み

桜井市教育委員会

在籍校・保護者への入級決定通知

通級指導校と在籍校で指導内容等の協議を行う

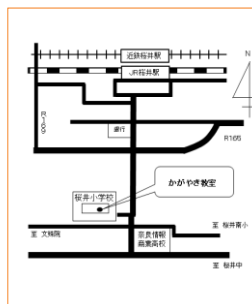


教育相談

随時、教育相談を受け付けております。お子さんのことば、学習や人との関わりなど、心配や悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。

電話受付
月・木
9:00~10:30

周辺地図とアクセス



・車の場合は校門に入って直進し、かがやき教室前の駐車場に止めてください。

桜井市
かがやき教室



かがやき通信

No. 1

2025年
6月20日発行
担当：杉本晴美



桜井市通級指導教室 桜井小学校内「かがやき教室」Tel&Fax：0744-46-9828<直通>

「かがやき教室は・・・」

少ない人数で
落ち着いて

その人のペースに合わせた
学習やトレーニング



「願いを広げ心をつなぐ集会」

6月6日（金）、全校集会で“かがやき教室”のことを次のようにお話ししました。

“かがやき教室”は少ない人数で静かな落ち着いた場所で、その人のペースに合わせた学習やトレーニングができる教室であること。

“かがやき教室”でめざしていること

は、トレーニングを通して、①集中して話を聞く②気分を落ち着ける③上手く自分の気持ちを伝える④自分に合った学び方を身に付けること。そして、その人にとって学びやすい方法でトレーニングすることで、「こういう工夫をすれば学習が分かりやすい、生活しやすい」といった工夫を身に付けることもめざしており、これらの力を身に付けて、自分に自信をもって学校でも家でも生き生きと生活してほしいと願っていると話しました。また、“かがやき教室”に通うためには、家の人と学校が何度も話し合っ決めていくこと。つまり、“かがやき教室”は、その人のことを一生懸命考えている人たちの「願い」や「やさしさ」が込められていることを伝えました。そして、“かがやき教室”に通っている人は、自分の教室での学習と、“かがやき教室”でのトレーニングと、二つの教室でがんばっている人だということも大切なこととして伝えました。

集中して
話を聞く

気分を落ち
着ける

自分合った
学び方

うまく自分
の気持ちを
伝える

自信をもつ



自分の教室



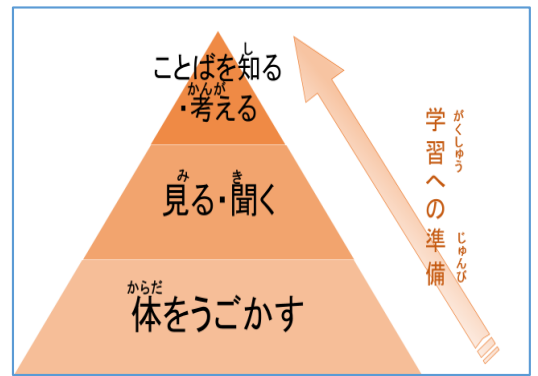
二つの教室でがんばっています！

+



かがやき教室

“かがやき教室”でのトレーニングについては、この三角形の図を示して説明しました。三角形の一番上にある、「ことばを知る・考える」という学習する力を付けるためには、その下の「見る・聞く」という力や、さらにその下の「体をうごかす」ことがスムーズにできることがとても大切です。だから、“かがやき教室”では、プレイルームでトランポリンやバランスボードなどを使って体に必要な感覚を取り入れて、学習の土台作りをする「体トレーニング」をしています。その後、一人一人に合った学び方を身に付けるた



め「集中トレーニング」や「見るトレーニング」「目と手のトレーニング」「計算・図形・漢字トレーニング」などを行っています。

桜井市初の通級指導教室が桜井小学校に設置されて10年が経ち、一昨年から三輪小学校と桜井中学校にも設置されました。ご家庭でも“かがやき教室”について話が出ましたらご参考にしてください。

アップダウンサーキット



<集会後の子どもの感想>

自分に自信をもつことは大切だと思いました。

ほかの学校の人たちも来ていることがわかりました。

みんなにかがやき教室のことを知ってもらってうれしい。

体トレーニングは、めちゃくちゃ楽しいです。

「1年生にかがやき教室を紹介！」

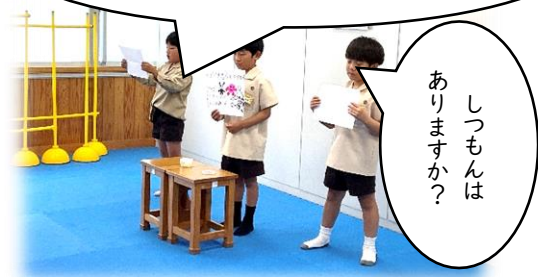
5月13日(火)1,2年生合同の生活科の時間に、2年生が1年生にかがやき教室の紹介をしてくれました。この日まで2年生はかがやき教室に来て、先生に質問をし、準備を進めていました。当日は、クイズをまじえてどんなトレーニングをするところか、大きな声で分かりやすく紹介できました。そして、トレーニングをしている様子も見せてくれました。

体幹を鍛えるために、片足立ちで行っている人もいますね。



「全校ビジョントレーニング開始！」

今年も5月末からスタートしました。このビジョントレーニングは、6年生が1年生の2020年(令和2年)から全校で取り組んでいます。高学年にトレーニングの目的を聞くと、「本が読みやすくなる、黒板の字をノートに写しやすくなる、ボールをキャッチしやすくなる。」など直ぐに返事が返ってきました。効果を分かってくれているようでとてもうれしく思いました。



かがやき通信

No. 2

2024年
7月19日発行
担当：杉本晴美



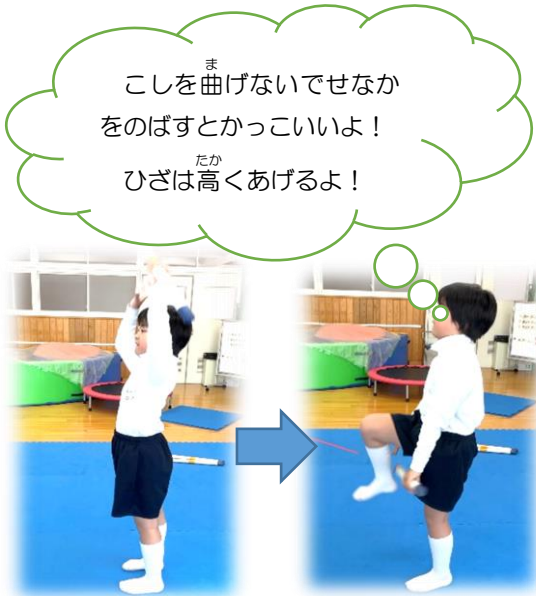
桜井市通級指導教室 桜井小学校内「かがやき教室」Tel&Fax：0744-46-9828<直通>

ぼう 「棒トレーニング」

- ①一人で⇒二人以上で⇒サーキットを作って
- ②モデルをまねして⇒自分で考えたワザで

<一人でトレーニング>

1学期の体トレーニングは「棒トレーニング」を中心に行いました。初めは片手ずつ棒を半回転しながら上に投げて同じ手でキャッチしたり、両手同時に投げてキャッチしたりしました。慣れてきたら、棒を右手で回転させながら上に投げて左手でキャッチするようにし、投げる手と受ける手を交互に使うようにしました。このトレーニングは自分の体と棒との位置関係や距離感をつかむボディーイメージが必要です。



こしを^ま曲げないでせなか
をのばすと^{たか}かっこいいよ！
ひざは高くあげるよ！



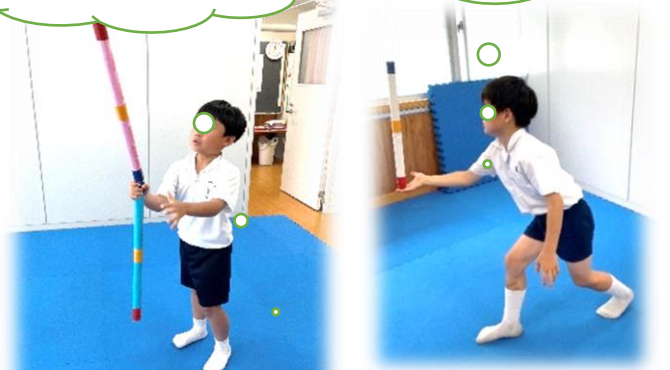
ひとつの棒は^{かた}肩にお
いて、もう一つはそ
の^うえを^{かいてん}回転させて
キャッチ!!
棒をよく^み見ないと
いけないんだ。

しゅうちゅう
集中して！

だいじ
バランスが大事！

最初は、示したモデルのまねをしていましたが、少しずつ自分でワザを考えるようになりました。子どもたちのステキなワザも紹介。一つ一つのワザにネーミングし、レポートリーを増やしました。

毎回の「棒トレーニング」が終わったら、感想や工夫したことを言葉にしたり、文章にしたりしました。



《感想・工夫》

むずかしかったけど、楽しかった。ぼうの先をよくみるとバランスがとれた。ボールを落さないようにしゃがんでボールおいた。1分12秒も早くなってびっくりした。つかれた。海ほどあせをかいた。トランポリンの上にボールをうまくおけた。二人で協力できた。

《さらにめざすカ》

注視する。目と手を協応させる。ボディーイメージ（自分の手足・体の輪郭、サイズ、位置や部位、手足や体の曲げ伸ばし具合や力加減、体の軸の傾き具合など、自分の体に対する実感）を向上させる。体の軸やスピードを調整してバランスをとる、リズムやタイミングを調整する、動作の手順を組み立てる。ルールを守って行動する。注意の集中・持続。相手の動きに合わせ、協力して行う。達成感や自信をもつ。自己肯定感やチャレンジ意欲を向上させる。

<二人以上でトレーニング>



次に二人や三人で「はい1、はい2、はい3…」と、声をかけ合い、右手に持った棒を右の人に投げ、同時に左の人から飛んできた棒を左手でキャッチするようにしました。投げることとキャッチすることを同時に行うので、タイミングを上手く合わせるためには、棒を集中してよく見るのが大事です。

長く続けるためには、相手が棒をキャッチしやすいように相手の肩の少し上に投げるとよいと子どもたちが気付きました。このトレーニングを通して、自分のことだけでなく、相手の立場に立って考えることができました。長く続いた時の「はい」の声は自然に大きくなり、何とも言えない一体感に包まれました。

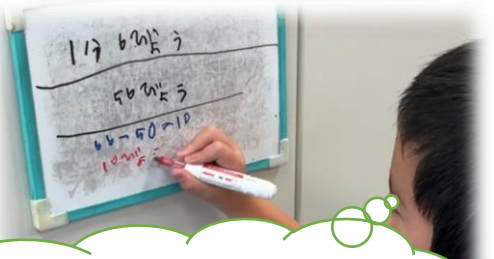


ボールを落とさないように
ていねいにおいて。

後ろ向きだけど
コーンを倒さない
よう慎重に。



また、ペアで棒に挟んだ大きさの違う大中小の5個のボールを一つずつ二人で協力して運ぶサーキットトレーニングを行いました。そして、トレーニングの記録動画を見て、1回目より2回目の方が早くゴールできるように工夫することを考えて再チャレンジ。タイムを計ると、全員が2回目の方が早くなりました。それほど、集中して真剣に行うことができ、速さがアップしたのです。最後はこれまでの体トレーニングで使った道具を自由に組み合わせてオリジナルなサーキットコースを作り、二人でボールを運びました。子どもたちの発想のすばらしさに驚きました。



1分6秒-56秒
→66秒-56秒=10秒
10秒速くなった!!



トランポリンの上にボールをおく。

スタート・ゴール

トランポリンまでボールを運ぶルールですが、転がすという発想がすばらしい!!



じゃんけんをして勝つと、まん中に近いところに足を置くことができる楽しい工夫。



「力を合わせてふうせんタッチ」

2学期の体トレーニングは、ふうせんタッチをしました。タッチする方法を様々に変えながら、最後は子どもたちが考えた楽しい方法を他の子どもたちにも伝え、バリエーションがどんどん増えました。このトレーニングを通して次のような力を培うことを目指して行ってきました。

<体>

見る力・目と手や体を連動させる・空間を把握する・バランスをとる・手足の力加減を調整する

<コミュニケーション>

ふうせんを落とさないように協力してタッチし続けるために

- ⇒ 集中する・ルールを守る
- ・相手の動きに合わせる
- ・相手の思っていることを想像する

<ルール>

- ①二人でふうせんをタッチしあう。
- ②2分間、ふうせんをゆかにおとさず、何回タッチできるかを数える。
- ③もくひょうの数をきめて行い、相手や自分の良いところを見つけたり、工夫することを考えたりして次に生かす。

<心>

- ・互いのよいプレイを見つけて発表し合う
⇒相手のことをより意識して取り組む
- ・目標数を決め、達成する
⇒自信をもつ
自己肯定感やチャレンジ意欲を向上させる

タッチしていない方の
手の動きもいいですね！

ふうせんの動きを
しっかり目で追う
ことができます。

片足はボードから
おろしても、またもど
ればだいじょうぶ。

ぐらぐらぼうタッチ

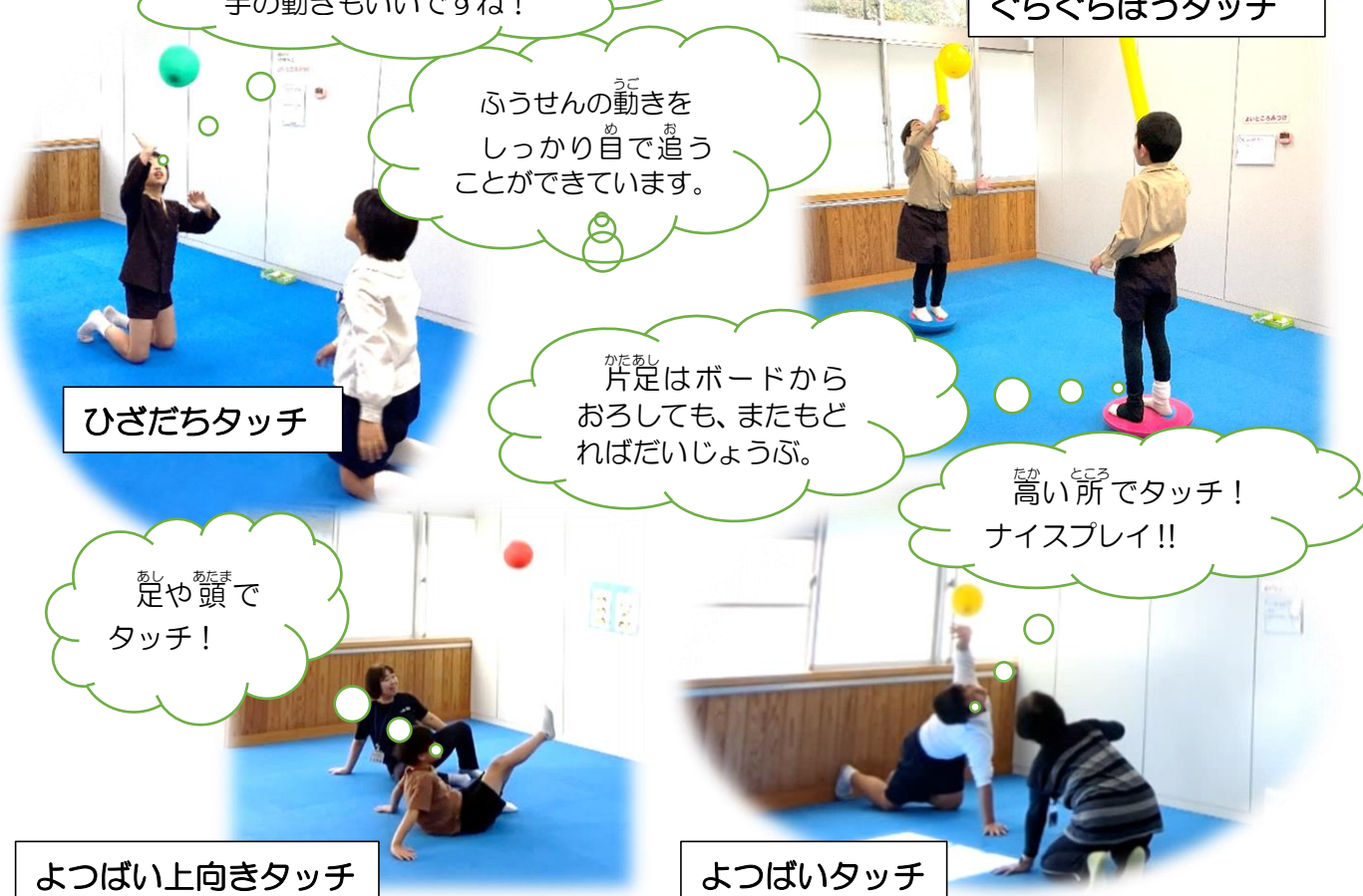
ひざだちタッチ

あし あたま
足や頭で
タッチ！

たか
高い所でタッチ！
ナイスプレイ!!

よつばい上向きタッチ

よつばいタッチ



ダブルふうせんぐらぐらタッチ



どうし ふた
同時に二つのふうせ
んをタッチ！
ふたり おお
二人とも大あわて。
バランスボードがゆ
れて、むずかしいよ!!

ぐらぐらコーンタッチ



りょうて
両手のコーンではさむよ。ふ
うせんをわらないように、はさ
む強さやタイミング、コーンの
向きが大切です。うまい!!

ストーンふうせんタッチ



ふうせんにタッチしながら、あ
る
わたる。ストーンから落ちないように。
はい、先生とこうたい。

全校

「体の軸づくり体操」

パッと見てピタッとポーズ!!

1学期に全校で行った眼球運動の「ビジョントレーニング」に引き続き、2学期の「目と体のビジョントレーニング」は『体の軸づくり体操』です。合言葉は“パッと見てピタッとポーズ!!”。モデルの絵をパッと見て、体の動きをまねてピタッと止めます。このトレーニングを行うことで、体幹（胴体）を鍛

えたり、目と体の動きを連動させたりすることができるようになります。冬休みに子どもさんと一緒にチャレンジしてみてください。3学期も全校で継続して行います。

目と体のビジョントレーニング **体の軸づくり体操** パッと見てピタッとポーズ!!

参考：杉本陽子氏

手だけバージョン

1・2 (すばやくポーズ)。3, 4 (両手を体のよこにもどす) を続ける⇒「気をつけ」のしせい。

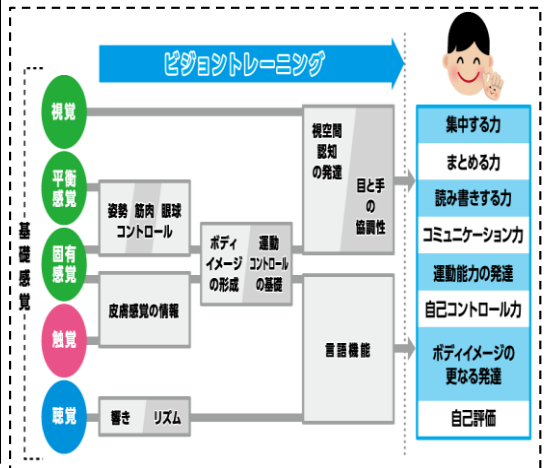
くりかえす。

足だけバージョン

1・2 (すばやくポーズ)。3, 4 (両足をそろえる) を続ける⇒「気をつけ」のしせい。

手足バージョン

くりかえす⇒ 1・2 (すばやくポーズ)。3, 4 (両手を体のよこにもどす、両足をそろえる) を続ける⇒「気をつけ」のしせい。



かがやき通信

No. 4

2024年
3月 21日発行
担当：杉本晴美



桜井市通級指導教室 桜井小学校内「かがやき教室」Tel&Fax：0744-46-9828<直通>

「アップ・ダウン・サーキット」

3学期の体トレーニングは2学期の「ふうせんタッチ」をサーキットにしてコースを作って行いました。ふうせんタッチをしながら、高低のあるバーと大小のストーンを通り、最後にふうせんをかごに入れるトレーニングです。高いバーは下をくぐり、低いバーは上をジャンプします。



しかし、自分の膝ぐらいの高さのバーはどちらの方法でバーを越えるとよいのかを瞬時に判断しなければなりません。

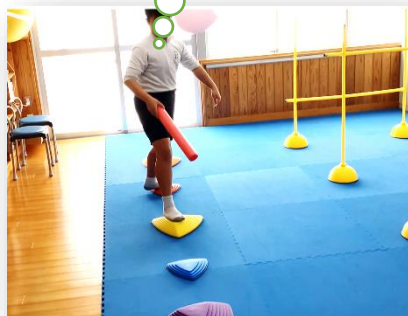
また、ストーンのところは体がストーンから落ちないようにバランスを保ちながらわたっていきます。

手元のふうせんと足元のストーン的位置を同時に目で確かめながら前に進まないといけないので、手の操作と自分の体の向きや足の運び方などを調整することが必要です。



あしはこかた
足の運び方が
いいですね！

つか
ぼうをうまく使って
まえ
ふうせんを前にもどして。



タイムを計って記録し、次はどうすればより速いタイムが出せるかも考えました。

スタートの時、バーの上を何本も越えるようにまっすぐふうせんを飛ばすことができるタイムがよくなることや、ゴールかごにふうせんを入れる際は、かごの端に当たらないように入れて、ふうせんがかごの外に飛び出さないように最後までよく見ることが大事ということなどに気付きました。

最後は二人で交互にふうせんタッチを行いながら、力を合わせてゴールまでふうせんを運ぶ「力を合わせてアップ・ダウン・サーキット」を行いました。うまくふうせんの受け渡しをしないとふうせんが床に落ちてしまうので、お互いの動作を気づかいながら、声を掛け合って行うことが大事です。前回より良いタイムにするためにどうしたらよいか二人で相談して考えました。

また、逆回りのコースにもチャレンジしました。不思議なことに逆回りの方がタイムが良かったです。



3/3 サークル (2人) 25 22 21 18 たのしかた。
 ① どんどんじかんがへていってうれしかった。つきも10をめざす。
 ② おたは、ゴールにボールをおしこんだ。せんせいは、むらさきののふたつにはやくいけていた。

体トレーニングについて
 たのしい
 かんかくとバランスが身につく。
 ↓
 相手の動きに合わせて自分の体を安定させる
 ↓
 相手のじまにならぬようにきおこす
 ↓
 目がおか

2人で力をあわせて	いいポイント (☆)
手 27.02 ↓ 20.49 ↓ 21.20 ↓ 29.21	こたかけをする。
	バランスをとる。
	ぼうのかかけんをすすこし
夕 20.149 ↓ 22.168 ↓ 17.40	ぼうでうけぼうこうにきかけを。
	つきは10までにまにあいた。

《めざす力》
 ルールを守る。注視する。
 目と手を協応させて動く。
 ボディーイメージをつかむ。
 体の軸やスピードを調整してバランスをとる。
 注意の集中や持続。
 相手の動きに合わせて、協力して行う。
 達成感や自信をもつ。
 自己肯定感やチャレンジ意欲を向上させる。